

2019年8月29日

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）

「ミッドセンチュリースタイルが2019年度のテーマ」

～ 2019年度Space Designer検定試験のテーマを発表 ～

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（以下ACSP）（東京都港区赤坂、代表理事 木下 仁）は、2019年度「Space Designer検定試験」のテーマを「ミッドセンチュリースタイルの女性専用シェアハウスの共用リビング」に決定したことを発表しました。

本試験は、「住宅関連の3Dパース画と室内空間デザイン提案書作成スキルの育成」を目的として年1回開催している課題提出型の試験で、提出された課題の総合評価により1級、2級を評価し、1級合格者の中から優秀な作品を、金・銀・銅賞として表彰しています。

過去5回実施した試験では、試験開始日に初めてテーマを知ることになったため、試験期間10日間の中で、テーマについての学習とモデリング、空間をデザインし、1枚の提案書にまとめることが求められました。今回から受験者は事前にテーマとなるインテリアスタイルの知識を深め、準備することができるため、より質の高い課題が作成できるようになります。

今回のテーマについて、Space Designer検定試験委員会の河村 容治委員長（元東京都市大学都市生活学部教授 博士（美術） 日本インテリア学会名誉会員 一級建築士）は、「ミッドセンチュリースタイルは、1950年代、アメリカを中心に世界中に広まり、現在でも人気が高いスタイルです。合板・プラスチックなどの新素材を使い、シンプルでローコストなデザインの、イームズやサーリネンの家具が有名です。カジュアルスタイルがベースで、純色を対比させたカラーコーディネートが特徴です」と述べています。

なお、2018年度 Space Designer検定試験は「アメリカンカントリー」というテーマで実施。金・銀・銅賞の作品は次のWebページで紹介しています。<https://www.acsp.jp/sd/sakuhin.html>

【2019年度Space Designer検定試験について】(<http://www.acsp.jp/sd/>)

試験期間：2020年2月7日～2月16日

申込期間：2019年11月29日～2020年1月14日

受験料：一般15,000円（税別） / 団体12,000円（税別）

試験方式：課題提出方式

評価方法：評価委員がすべてのパース画および提案書を「評価基準」に基づき総合的にチェックし判定

合格基準：Space Designer1級 基礎課題の総合評価で70点以上、応用課題の総合評価80点以上

Space Designer2級 基礎課題の総合評価で70点以上

受験対象者：建築物の内装を設計するのに必要な知識（製図、インテリア）と技能（ソフトウェアを利用したCGパース作成）・空間デザインの表現力を学習している学生、住宅建築・リフォーム関連企業の社員、同企業への転職を希望する社会人

使用できるソフト：JPEG画像とPDFが作成できるものであれば、ソフトの指定はありません。

【一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）について】(<http://www.acsp.jp/>)

ACSPは、1990年の創設以来、受験応募者累計58万人を達成する「CAD利用技術者試験」を主催・運営する非営利法人です。検定を通し、「ITを活用したものづくり人材」と「生き生きと楽しみながら働き、社会で活躍できる人材」の輩出に努めています。